行政の継続性
緊急性を勘案した骨格予算

骨格予算は、首長や議会の議員の改選を目前に控えて、1年間の行政活動を全てにわたって予算計上することが困難、適当でないと判断された場合、新規の施策等を見送り、政策予算を抑え義務的経費を中心に編成された予算です。

23年度予算成立

総額 76億 876万円

執行方針

「牛の歩みは馬をも制す」
地道に着実に前進し、希望と幸福感に繋がるよう努力します。

執行方針の全文は町広報誌に掲載されています。

吉田町長は、平成23年度の町政執行方針において「町長の職責を担って3期12年を終えようとしています。町の財政状況を示す数値は、健全性を維持していますが、混迷する政治、停滞する社会情勢等、暗夜の航海のような状況が続いています。町の基本構想である〝第6期総合計画〟にある活きて生きる町づくり、多様化する町民ニーズを把握し、町民参加による協働のまちづくりを推進します」とのべました。

予算及び町総合計画等審査特別委員会

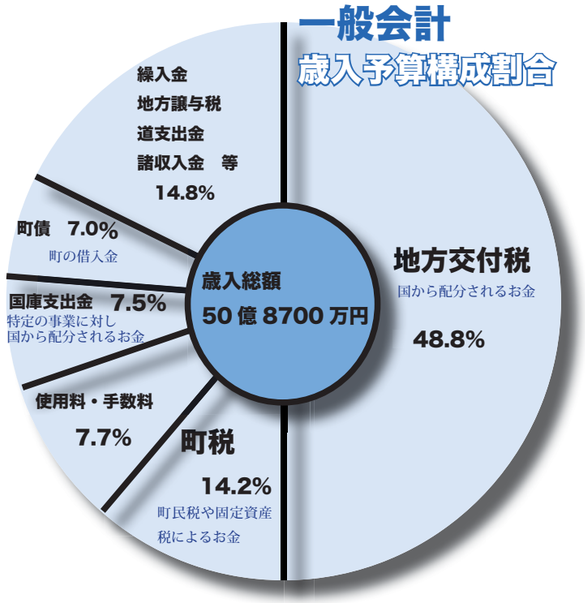
平成23年度鹿追町各会計予算及び第6期鹿追町総合計画等審査特別委員会（葛原昇委員長）では、一般会計及び7特別会計と総合計画の審査を18日、22日の2日にわたって行いました。

全会計の予算額を3.9％約2億8千2百万円の増とし、繰越明許費と合算し前年と同程度の町内経済の活性化に配慮した予算規模になっています。

また、今後10年間の町の目指すべき方向性をあきらかにした第6期総合計画についても審議、予算とともに全会一致で可決しました。

請願

町農民団体連絡協議会（上嶋誠一会長）から請願のありました「畜産物価格決定等に関する要望」は本町の基幹産業の農業を守る観点から採択し、関係機関に意見書を提出しました。



23 新年度予算 町の財政事情

会計名		予算額	前年度比	採決の状況
一般会計		50億8700万円	7.2%	可決
特別会計	国民健康保険	7億5713万円	5.0%	可決
	老人保健	117万円	△33.8%	可決
	病院事業	9億6640万円	△10.2%	可決
	簡易水道	1億1975万円	3.2%	可決
	下水道	2億1905万円	△0.9%	可決
	介護保険	3億9909万円	2.4%	可決
	後期高齢者医療	5914万円	3.8%	可決
	計	76億 876万円	3.9%	可決

※予算額計は端数の整理のため各予算額の合計と一致しません。

つぶやき ■大震災の影響による電力不足。原子力発電への不安、町の推進するバイオマス発電や太陽光発電が、未来に向けての本当のクリーンなエネルギーと確信。